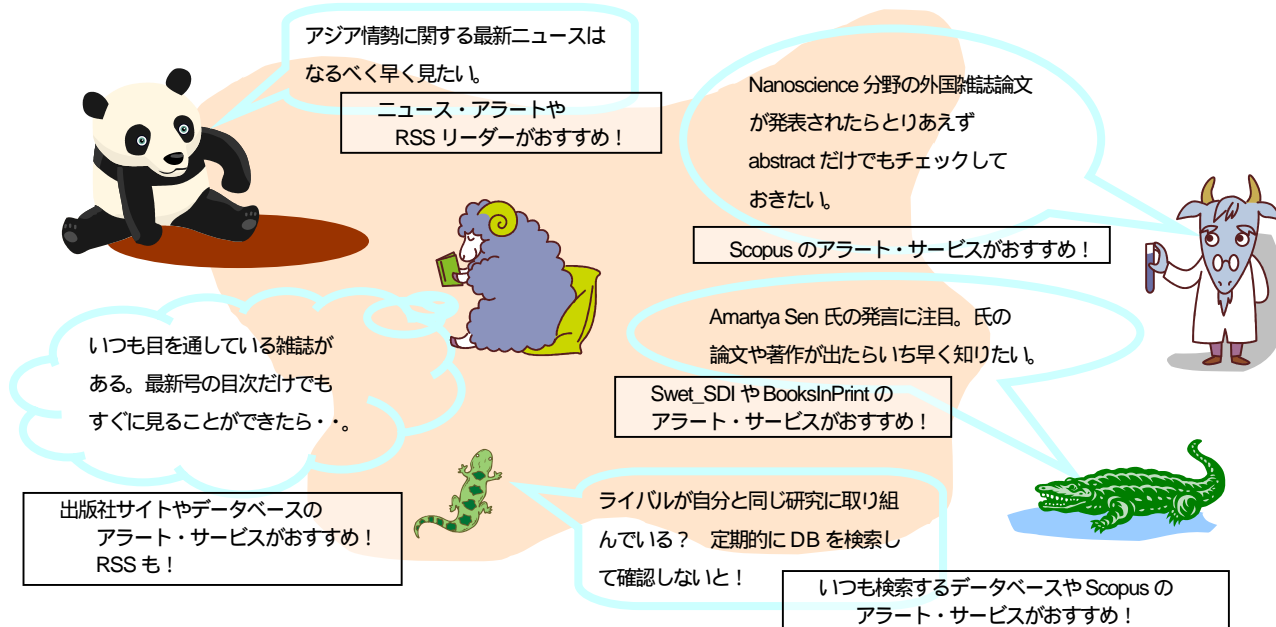


## メール・アラート、RSS リーダー

ニュースや最新の論文・図書情報を効率よく入手するために

日々生産され、発表される論文や図書。最新の研究成果を把握し、自らの研究に役立てるためには、それらの情報をいち早く入手することが重要です。また、インターネット上に時々刻々と流されるニュースも、調査・研究に欠かせません。これらの情報を効率よく入手し、整理する手段として、メール・アラート、RSS リーダーをご紹介します。



### メール・アラート

学術雑誌出版社のサイトや特定のオンライン・データベースで、分野や誌名、キーワードを登録しておくと、登録内容にあわせてメールを届けてくれるサービスです。サービスの内容は様々です。図書であればGlobal Books In Print のBowker's BIP Alert [学内のみ]、文献データベース系であればPubMed (医学分野) のMyNCBIなどが提供しています。あなたが普段使っているデータベースもアラート・サービスを提供しているかもしれません。確認してみましょう。

例として、京都大学電子図書館が提供する SwetScan SDI と、Elsevier 社の電子ジャーナル・サービス、Science Direct のアラート・サービスを紹介します。

#### ◆ SwetScan SDI (Selective Dissemination of Information)

自分の研究分野のキーワードになる単語などで検索式を登録しておく、新しく届いた欧文雑誌論題データから週単位あるいは月単位で自動的に検索を行い、その結果をメールで届けてくれるサービスです。SwetScanを使うメリットは、収録誌や分野が非常に広く、出版社に偏らない論文情報を網羅的に検索してくれる点です。

SwetScan <http://ddb.libnet.kulib.kyoto-u.ac.jp/lusr/swets.html> [学内のみ]

このサービスを利用するには、図書館が発行するパスワード (オンライン申込サービス、MyLibrary と共通) が必要です。

パスワードの入手方法は、図書館機構ウェブサイトを参照してください。 <http://www.kulib.kyoto-u.ac.jp>

#### 検索式の登録方法

1. ブラウザで 上記 URL にアクセスし、[SDI へのログインはこちらから] のリンクをたどります。
2. 利用者認証画面で図書館利用証 ID とパスワードを入力し、[認証(LOGIN)]ボタンを押します。
3. SDI 検索条件を記入し、メールの頻度 (実行単位) を週または月で選択します。E-mail アドレスを確認し、検索条件に自分でわかりやすいSDI タイトルをつけて、[登録]ボタンを押します。検索条件は 5 件まで登録できます。登録した検索条件で、どのような結果がメールで届くか、試しにその場で見てみたい場合は、[検索結果を見る] ボタンで確認してみましょう。
4. [ログアウト]します。これで、指定した頻度でメールが届くようになります。(メールは金曜夜に配信されます。)

### ◆ Science Direct (Elsevier 社の電子ジャーナル提供サイト)

4種類ものアラート・サービスが提供されています。利用するには、ScienceDirect(<http://www.sciencedirect.com/>)でのユーザ登録(無料)が必要です。画面右上の Register という文字をクリックすると、ユーザ登録できます。

- Search Alerts・・・通常の検索フォームで実行可能な検索と同じクエリーの実行結果がメールで届く。頻度は毎日、毎週、毎月が選択可能。
- Topic Alerts・・・'Biomedical Engineering'や'Cognitive Psychology'など学問分野で選択でき、そのカテゴリーに関連する論文の情報が毎週届けられる。
- Volume/Issue Alerts・・・特定の雑誌の最新号が Web で発行されたときにメールが届けられる。
- Citation Alerts・・・特定の論文が、ScienceDirect 内に収録された論文に引用された際にメールが届けられる。頻度は毎週、毎月が選択可能。 Science Direct だけだと範囲が Elsevier 関連雑誌だけに限定されます。Citation Alert であれば、Web of Knowledge か、同じ Elsevier の Scopus のような文献データベースのサービスがより有効です。

### ◆ ニュース・アラート

ニュースサイトから定期的にニュースが届けられるサービスです。なかでも Google アラートは、さまざまなニュース・ソースから、登録しておいたキーワードを含むニュースだけを取り出して知らせてくれるので、最も便利でしょう。

- ✦ MSN 毎日インタラクティブ・アラート <http://alerts.msn.co.jp/news/Signup.aspx>
- ✦ 日経ニュースメール・マガジン <http://nikkeimail.goo.ne.jp/>
- ✦ Google アラート <http://www.google.com/alerts> (ベータ版, 2005/12/7 時点)

## RSS リーダー

この頃よくウェブで **RSS** **XML** **RDF** といったリンクを見かけます。これらは RSS (Rich Site Summary または Really Simple Syndication) という、ウェブページに掲載される最新の情報が、ある書式にもとづいて要約して記述されたファイルへのリンクです。国内外のニュースサイト、各種団体はもとより電子ジャーナル提供サイトなども、主に RSS 形式を用いて最新情報を配信するようになってきました。

つまり、配信される RSS フィードを集めて読むことによって、ニュースサイトの最新ニュースや、新しく発表された学術論文の情報を効率よく得ることができるのです。他に、いわゆる blog (ブログ) もたいてい RSS を配信しています。

### ◆ RSS を配信しているサイトの一例:



#### 電子ジャーナル

- ✦ ingenta <http://www.ingentaconnect.com/>
- ✦ BioMedCentral <http://www.biomedcentral.com/home/>
- ✦ Cell Press <http://www.cell.com/>
- ✦ AIP Journals <http://journals.aip.org/>

#### ニュース

- ✦ 日経 BP <http://nikkeibp.jp/jp/flash/index.html>
- ✦ 朝日新聞 <http://www.asahi.com/information/service/rss.html>

#### 団体

- ✦ WHO <http://www.who.int/about/licensing/rss/en>

RSS を読むには、リーダーが必要です。リーダーには、アプリケーションとしてダウンロードして使用する方式のもの (Glucose [フリーウェア <http://glucose.jp/>], goo RSS リーダー [フリーウェア <http://reader.goo.ne.jp/>] など)、ブラウザ組み込み型 (Opera には標準で装備。Internet Explorer のプラグインもある) や、Yahoo! Japan が My Yahoo! 登録ユーザ向けにウェブ上で提供しているサービスなどが利用できます。いつも使う PC が決まっている場合はアプリケーション型、手軽に使いたい場合はブラウザ組み込み型、さまざまところからリーダーにアクセスしたい場合はウェブ・サービス型と、自分の目的や利用形態、好みにあわせてリーダーの種類を選択するとよいでしょう。

RSS フィードを配信するサイトはこれからますます多くなってきます。

学術情報収集の新しいツール、RSS リーダーをいち早く取り入れて、便利さを実感してみましょ！